

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月27日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 太陽工機

コード番号 6164 URL <http://taiyokoki.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺 登

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 小林 秋男

TEL 0258-42-8808

四半期報告書提出予定日 平成23年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,420	90.7	173	—	150	—	147	—
23年3月期第2四半期	1,269	99.1	△244	—	△267	—	△270	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	50.60	—
23年3月期第2四半期	△93.12	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,627	1,276	34.6
23年3月期	3,679	1,129	30.1

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 1,254百万円 23年3月期 1,107百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	32.5	350	227.9	310	411.2	300	457.1	103.18

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	2,978,200 株	23年3月期	2,978,200 株
24年3月期2Q	70,776 株	23年3月期	70,776 株
24年3月期2Q	2,907,424 株	23年3月期2Q	2,907,424 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。
 ・当社は、平成23年10月28日(金)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料の概要については、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する定性的情報	1
(2) 財政状態に関する定性的情報	1
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	2
4. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 継続企業の前提に関する注記	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

第2四半期累計期間におけるわが国経済は、震災復興にある中、欧米各国の財政状態の悪化に伴う金融不安、中国における金融引き締め及び急激な為替相場の変動等の影響を受け、先行きの見通しが不透明になっております。

当社を取り巻く経営環境も、こうした影響を避けられず、国内外の需要先企業の設備投資も減速の兆しが見えてまいりました。

こうした状況下においても、当社は、今年4月開催の中国国際工作機械見本市(CIMT)につづき、9月開催の欧州国際工作機械展(EMO)といった世界四大工作機械見本市に出展し、お客様の設備投資ニーズを積極的に掘り起こし、着実に受注につなげてまいりました。

また、生産面においては、設計・調達・組立といった生産プロセスを改善し、コストの最適化を図っております。

この結果、当第2四半期累計期間の受注高は、3,404,322千円(前年同期比67.9%増)となりました。うち当社主力機種である立形研削盤は2,582,339千円(前年同期比59.4%増)、横形研削盤は461,632千円(前年同期比49.3%増)、その他専用研削盤は360,350千円(前年同期比267.7%増)となりました。

売上高につきましては、一部のお客様において設備計画の見直しがあり、当事業年度後半へ納入時期が変更となった案件があったものの、ほぼ当初の計画通りとなっており、実績は2,420,223千円(前年同期比90.7%増)となりました。品目別に示すと、立形研削盤は1,828,241千円(前年同期比97.4%増)、横形研削盤は240,141千円(前年同期比48.4%増)、その他専用研削盤は351,841千円(前年同期比94.4%増)となりました。

損益につきましては、ロット生産による効率化が奏功し、当初計画より改善が図られております。実績は、営業利益173,770千円(前年同期は244,322千円の損失)、経常利益150,489千円(前年同期は267,292千円の損失)、四半期純利益147,106千円(前年同期は270,728千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期末の流動資産は前事業年度末に比べて13,457千円減少し、2,272,188千円となりました。これは主に現金及び預金が12,346千円、売掛金が376,075千円減少したこと、仕掛品が244,927千円、原材料及び貯蔵品が135,294千円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第2四半期末の固定資産は前事業年度末に比べて39,526千円減少し、1,354,813千円となりました。これは主に有形固定資産が38,387千円減少したことによるものです。

(流動負債)

当第2四半期末の流動負債は前事業年度末に比べて171,820千円減少し、1,454,489千円となりました。これは主に短期借入金が230,000千円、製品保証引当金が30,028千円、未払法人税等4,147千円減少したこと、買掛金が156,134千円、役員賞与引当金が18,899千円増加したことによるものです。

(固定負債)

当第2四半期末の固定負債は前事業年度末に比べて28,169千円減少し、896,429千円となりました。これは主にリース債務が25,672千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期末の純資産は前事業年度末に比べて147,006千円増加し、1,276,083千円となりました。これは主に利益剰余金が318,364千円増加したこと、資本剰余金が171,257千円減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前事業年度末に比べて12,346千円減少し、251,437千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金は255,972千円の増加となりました。これは主に税引前四半期純利益150,489千円の計上、減価償却費52,845千円、役員賞与引当金の増加18,899千円、売上債権の減少376,075千円、仕入債務の増加156,134千円の資金増加要因と、製品保証引当金の減少30,028千円、たな卸資産の増加380,221千円、未払消費税等の減少63,870千円、未払金の減少26,574千円、利息の支払20,378千円の資金減少要因によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金は13,620千円の減少となりました。これは主に有形固定資産の取得9,182千円の資金減少要因によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は254,698千円の減少となりました。これは主に短期借入金の返済230,000千円、リース債務の返済24,697千円の資金減少要因によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期の業績予想につきましては、平成23年7月28日付発表の「平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」における開示内容から変更はございません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	263,784	251,437
売掛金	1,302,049	925,973
仕掛品	542,630	787,557
原材料及び貯蔵品	159,504	294,798
その他	18,678	13,422
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	2,285,646	2,272,188
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	913,602	882,551
土地	356,336	356,336
その他(純額)	83,205	75,868
有形固定資産合計	1,353,144	1,314,757
無形固定資産	23,498	18,060
投資その他の資産	17,696	21,995
固定資産合計	1,394,339	1,354,813
資産合計	3,679,986	3,627,002
負債の部		
流動負債		
買掛金	135,299	291,433
短期借入金	1,120,000	890,000
未払法人税等	11,903	7,755
役員賞与引当金	—	18,899
製品保証引当金	100,249	70,221
その他	258,858	176,179
流動負債合計	1,626,309	1,454,489
固定負債		
リース債務	867,593	841,920
その他	57,006	54,508
固定負債合計	924,599	896,429
負債合計	2,550,908	2,350,919
純資産の部		
株主資本		
資本金	700,328	700,328
資本剰余金	637,828	466,570
利益剰余金	△171,257	147,106
自己株式	△59,682	△59,682
株主資本合計	1,107,216	1,254,323
新株予約権	21,860	21,760
純資産合計	1,129,077	1,276,083
負債純資産合計	3,679,986	3,627,002

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,269,074	2,420,223
売上原価	1,084,433	1,723,258
売上総利益	184,640	696,965
販売費及び一般管理費	428,963	523,195
営業利益又は営業損失(△)	△244,322	173,770
営業外収益		
受取利息	121	31
受取手数料	167	831
助成金収入	4,800	2,250
還付消費税等	3,254	—
その他	1,526	1,500
営業外収益合計	9,870	4,613
営業外費用		
支払利息	21,678	20,327
売上割引	978	1,187
支払手数料	5,396	925
その他	4,786	5,454
営業外費用合計	32,840	27,894
経常利益又は経常損失(△)	△267,292	150,489
特別損失		
固定資産除却損	152	—
特別損失合計	152	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△267,444	150,489
法人税、住民税及び事業税	3,283	3,383
法人税等合計	3,283	3,383
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△270,728	147,106

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△267,444	150,489
減価償却費	58,137	52,845
固定資産除却損	152	—
受取利息	△121	△31
支払利息	21,678	20,327
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	18,899
製品保証引当金の増減額(△は減少)	10,554	△30,028
売上債権の増減額(△は増加)	168,871	376,075
たな卸資産の増減額(△は増加)	△161,472	△380,221
仕入債務の増減額(△は減少)	86,004	156,134
未収消費税等の増減額(△は増加)	173,000	—
未払消費税等の増減額(△は減少)	9,315	△63,870
未払金の増減額(△は減少)	△6,371	△26,574
未払費用の増減額(△は減少)	9,379	5,481
その他	5,154	3,517
小計	106,839	283,044
利息の受取額	121	31
利息の支払額	△21,985	△20,378
事業構造改革費用の支払額	△26,758	—
法人税等の支払額	△3,303	△6,725
営業活動によるキャッシュ・フロー	54,913	255,972
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期積金の純増減額	130,000	—
有形固定資産の取得による支出	△10,696	△9,182
貸付金の回収による収入	—	200
その他	1,008	△4,638
投資活動によるキャッシュ・フロー	120,312	△13,620
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△207,500	△230,000
リース債務の返済による支出	△23,759	△24,697
配当金の支払額	△4	△1
その他	△422	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△231,686	△254,698
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△56,460	△12,346
現金及び現金同等物の期首残高	219,400	263,784
現金及び現金同等物の四半期末残高	162,940	251,437

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。